

環境方針

第3版

生活協同組合連合会アイチョイスは、持続的発展を可能とする循環型社会の実現を目指し、環境問題を根源的な課題と位置付け、傘下生協と協力し各生協組合員と共に環境保全活動に積極的に取り組みます。

そのため、傘下生協に加入されている組合員の「くらしの安全・安心」を確保するために、食の安全を推進する運動や安全な商品提供を積極的に進めるとともに、病気やけが、災害などくらしの不安を削減し、安心を確保するための共済事業をはじめとする生活者の課題に取り組みます。

また、地域における「共助」の心を育て、組合員による地域の環境保全活動を推進するための支援や情報提供を積極的に進め、社会制度の健全な運営への参画を果たすとともに、地球環境保全のための連合会が果たすべき役割を自覚しその責務を積極的に実行します。

これら連合会の活動により、環境に大きな影響を及ぼす項目について、技術的かつ経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、定期的に見直します。あわせて、当連合会に適用される環境側面に関わる法律、規制、条例およびその他の受け入れを決めた要求事項を遵守し、環境負荷の軽減と汚染の予防及び環境へ好影響を及ぼす活動を推進します。

1、基本方針

- ① 二酸化炭素の排出をはじめとする地球環境の悪化をおしとどめるための努力を積極的に行います。
- ② 持続可能な事業を進めるために組合員と共に努力していきます。
- ③ 私たちの住む地域の環境をはじめ、生産者の田畑等、関与できる環境の保全に組合員と共にできるだけ協力していきます。

2、課題別目標

- ① 生協利用を促進し、規模拡大により供給高当たりの事業の環境効率を高めます。
- ② 配送トラックの燃料使用効率を高めます。
- ③ 電気使用量の削減、紙使用量の削減、排出物（ごみ）の削減を進めます。
- ④ 商品案内、たまごパック、牛乳パック、シッパー内袋の回収を行い、再資源化の取り組みを行います。
- ⑤ 住宅リフォームの啓発活動を進めていきます。
- ⑥ 環境に配慮した商品を提供し、特に「石けん」を重点商品とし啓発活動を進めます。
- ⑦ 環境活動の取り組みの状況について定期的に公表します。

以上の活動を進めるために、グループ職員に対する環境教育を積極的に進め、環境マネジメントシステムの継続的な改善を行います。この環境方針は生協連合会アイチョイスの内外に広く公表します。

2017年7月1日

生活協同組合連合会アイチョイス

理事長 大宮 隆博